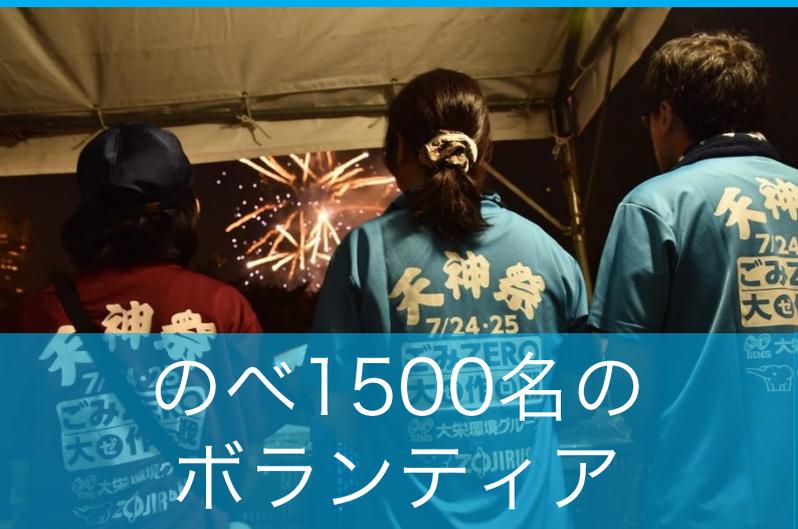




天神祭ごみゼロ大作戦2018 実施報告書



のべ1500名の
ボランティア



リユース食器回収率
92.9%



廃棄物が13.8トン減



分別回収量が4倍に

天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

構成団体：大阪市／公益社団法人大阪府産業資源循環協会／一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会／
大阪神農商業協同組合北支部／大阪市ボランティア・市民活動センター／社会福祉法人大阪ボランティア協会／
なにわエコ会議／関西製紙原料事業協同組合／大阪府地球温暖化防止活動推進センター／NPO法人大阪府民環境会議／
NPO法人ごみゼロネット大阪／大阪ごみ減量推進会議／大阪びんリユース推進協議会
Rびんプロジェクト／World Seed／NPO法人地域環境デザイン研究所ecotone

はじめに

ありがとうございました。おかげさまで、天神祭ごみゼロ大作戦の2回目のチャレンジも無事に終えることができました。

今年は、大川沿いの河川敷全域に活動区域を広げるという大きなチャレンジをしました。昨年に比べて4.8倍ほどの長さの地域であり、人出の多い奉納花火の打ち上げ会場も含んでいました。大川の右岸と左岸をあわせて総延長4.5kmの守備範囲に100万人ともいわれる人出なので、どうなることかと心配しておりましたが、案ずるより産むが易しでした。

38カ所のエコステーションで、のべ1500人のボランティアの方々が、100万人の来場者の方々に向かってごみの減量を呼びかけてくださいました。1500人で100万人が捨てたごみを拾うことはできませんが、1500人の呼びかけに100万人が応じてくだされば、ごみは減らせます。今年の大川沿いの状況を見ると、一部にごみが残ったところもありましたが、ほとんどの来場者の方々はボランティアの呼びかけに応じてくださいました。

また今年も、さまざまな方々が一緒に活躍してくださいました。先生や親御さんと一緒の中学生、一人で参加してくれた高校生、外国からの留学生たち、試験期間中なのに頑張った大学生、企業単位や労働組合単位の社会人、子育て中のお母さん、社長さん、そしてリタイア後の方々、本当にたくさんの皆さんが参加してくださいました。さらに、ご協賛やご寄付をいただいた企業や個人のお力添えはもとより、さまざまな地元企業から物やサービスのご提供をいただきました。天神祭ごみゼロ大作戦の幅がますます広がってきています。

みんなで知恵と力を出し合ってより心地よい仕組みをつくる、新しい時代の扉が今開きはじめたような気がしています。

2018年10月
天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会 実行委員長 花嶋温子
(なにわエコ会議会長、大阪産業大学講師)



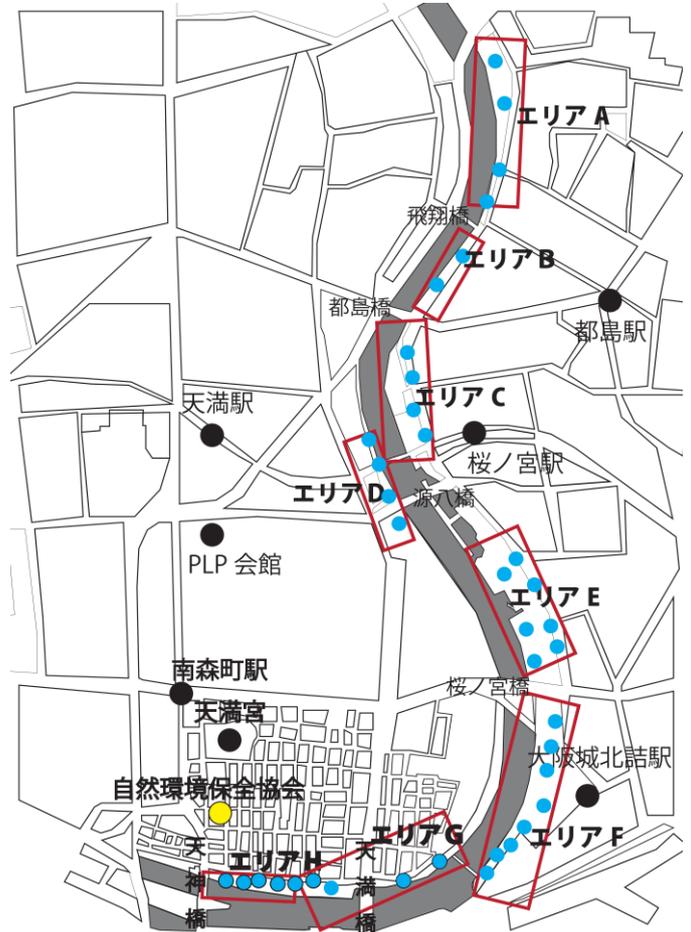
天神祭ごみゼロ大作戦2018実施概要

2017年の成果を受け、エリアを一気に拡大し、大川沿い全域エリアを対象に実施しました。

目的	市民・事業者・行政のパートナーシップにより、天神祭における廃棄物の3R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理を促進し、もって持続可能な循環型社会形成に寄与すること
実施日	2018年7月24日（火）宵宮 7月25日（水）本宮
会場	大川沿い露店出店エリア
実施内容	1. 廃棄物・資源分別回収の為のエコステーションの設置と運営 2. 天神祭飲食出展者へのリユース食器導入の実施 3. 散乱ごみの清掃活動
主催	天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会
構成団体	大阪市／公益社団法人大阪府産業資源循環協会／一般社団法人大阪市一般廃棄物適正処理協会／大阪市ボランティア・市民活動センター／社会福祉法人大阪ボランティア協会／大阪神農商業協同組合北支部／なにわエコ会議／関西製紙原料事業協同組合／大阪府地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人大阪府民環境会議／特定非営利活動法人ごみゼロネット大阪／大阪ごみ減量推進会議／大阪びんリユース推進協議会／Rびんプロジェクト／World Seed／特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所ecotone
協賛	象印マホービン/大栄環境/タクマ/サナダ精工/近畿労働金庫/エール学園/大阪府産業資源循環協会/大阪市一般廃棄物適正処理協会/環境事業協会
ボランティア	2日間のべ1494名
エコステーション	エリア内に38か所設営

エコステーションの設置

出されたごみをきちんと分別するために、複数の分別回収BOXを設置し、ボランティアが分別の誘導を行います。いっぱいになった袋を入れ替えていくことでごみが溢れ出し散乱する防止にもなります。昨年はGHエリアのみ14か所の設置でしたが、2018年度は大川沿い露店出店エリアで38か所のエコステーションを設置しました。



▲エコステーションMAP (2017年はエリアGHのみ)



▲花火の見えるエリアでも新しく実施



▲エコステーションテント



▲高校生も活動



▲テントなしでのエコステーション



▲分別回収の様子



▲日が暮れると忙しくなります



▲エコステーション

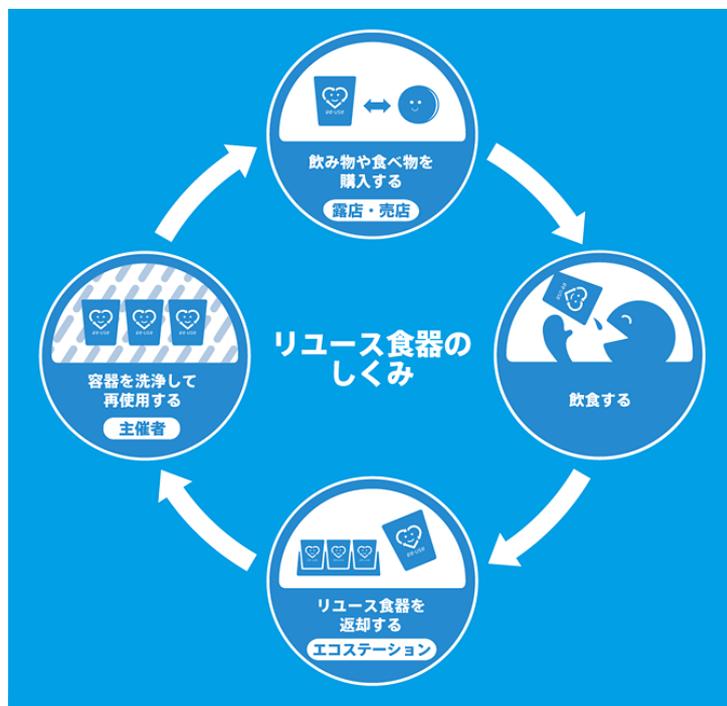
リユース食器の導入

そもそごみとなるものの発生を防ぐため、リユース食器を露店に貸し出しました。使用された食器はエコステーションで回収され、事務局で洗浄しまた別のイベントで使用していきます。今回は南天満公園を中心に配布しました。



▲リユースカップ

▲リユース容器



▲リユースカップで水分補給



▲露店にはリユース食器使用看板



▲回収された食器



▲リユース食器での提供



▲リユース食器での食事



▲リユース食器で食事

ごみの拾い歩き・回収量の調査

【ごみの拾い歩き】

基本のごみはすべてエコステーションで回収しますが、道端などにゴミが捨てられていると、そこにどんとどんとゴミがたまるので、散乱を防ぐため拾い歩きも実施しています。

【回収量の調査】

実際に、エコステーションでどれだけのゴミを回収し、どれだけの資源に回すことができたのかを調査するため、各エコステーションで回収した量を調査します。

ごみ資源計測シート

測定 記録 測定済シール貼る

日時:	エコステーション名:	
種類(A-G)	重量	時刻
例 B	4.5 kg	17:45
1	kg	:
2	kg	:
3	kg	:
4	kg	:
5	kg	:
6	kg	:
7	kg	:
8	kg	:
9	kg	:
10	kg	:

A	拾い歩き
B	燃えるごみ
C	ペットボトル
D	かん
E	びん
F	くい・わりばし
G	飲み残し



▲ばねばかり

▲計測シート



▲前日に残ったごみを拾います



▲暗い茂みにごみが落ちています



▲花火会場は放置されたごみが特に多くありました



▲暗いところもライトで安心



▲最後にごみを一か所にまとめます

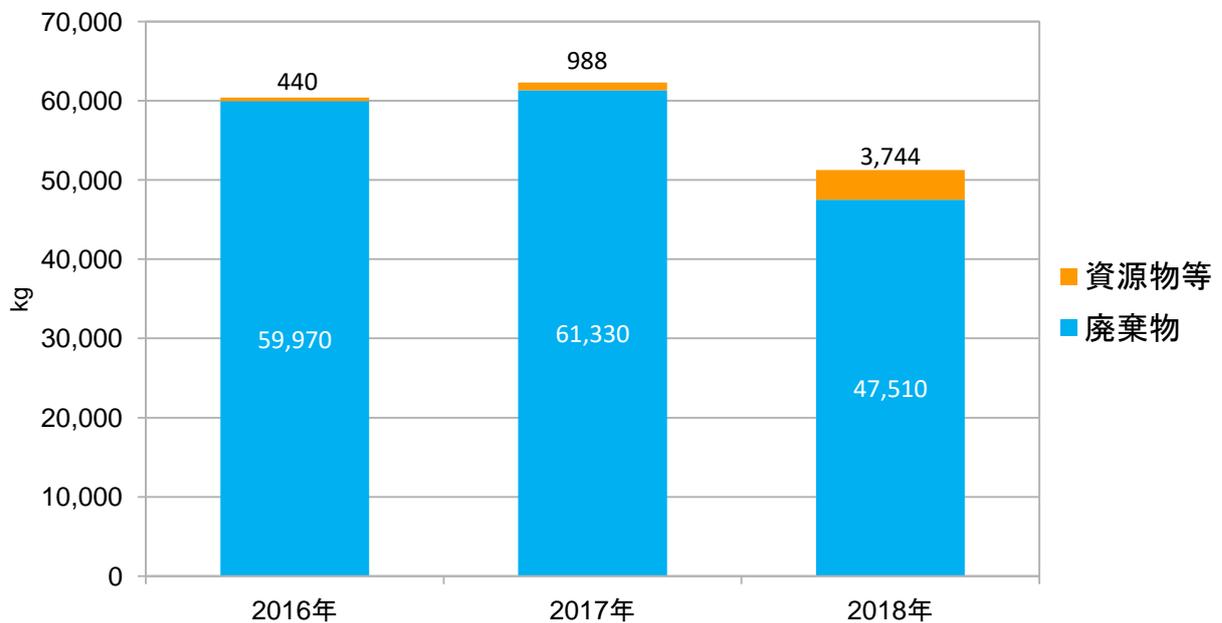


▲中学生がお手伝いをしてくれました

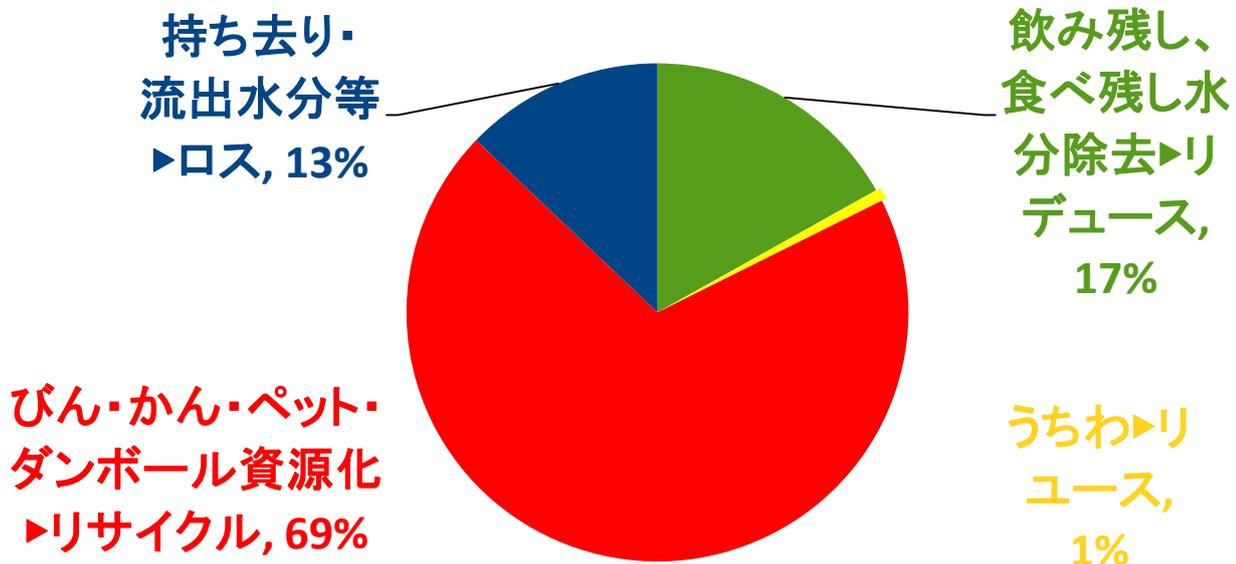
廃棄物が**13.8**トン減量

廃棄物の量は前年度の61.3トンから47.5トンへ、13.8トン・22.5%の大幅な減量となりました。露天商において、びんでの飲料販売が自粛されたことと、エコステーションの全域化により資源物等の回収が3.3倍になったことが主な要因です。

廃棄物と資源物等の排出量の推移



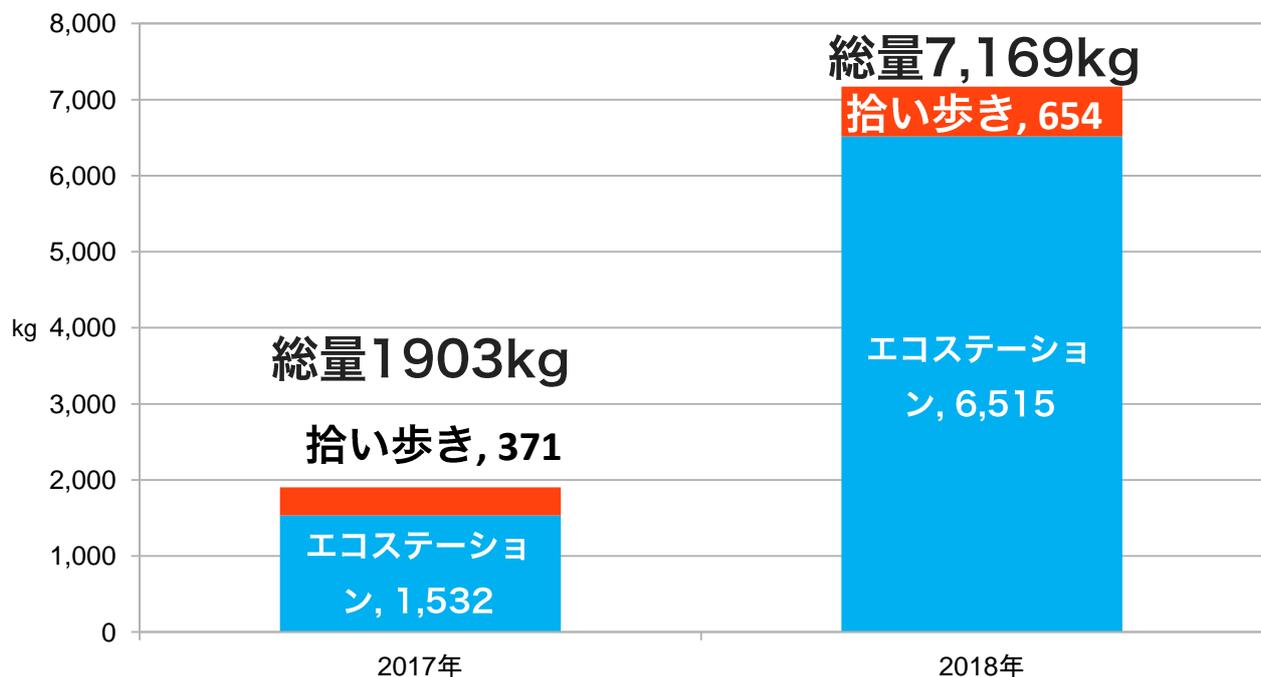
資源物の内訳グラフ



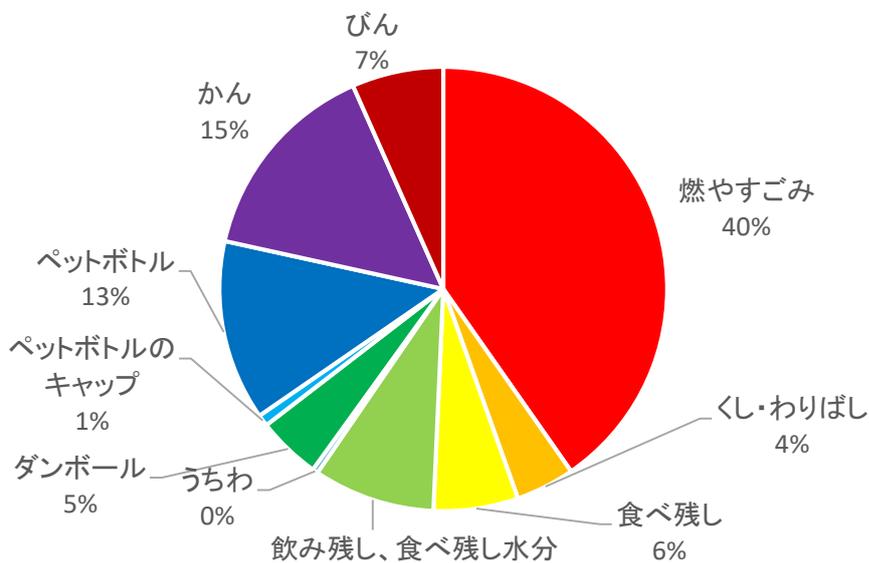
分別回収量が**4倍**に増加

エコステーションと拾い歩き活動のエリアが河川敷全域に広がったことにより、市民の協力がひろがり、エコステーションでの受け取り量は1.5トンから6.5トンと4倍になりました。

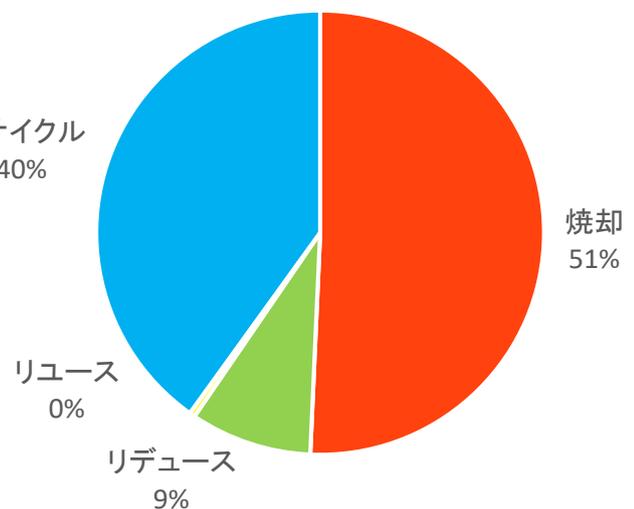
分別回収量と拾い歩き量の変化



種別比率グラフ



処理方法グラフ



リユース食器回収率が**9割**を超える

ボランティア数、資金面で導入範囲は2017年より拡大することはできませんでしたが、全域でのエコステーション設置と、分別の徹底によって、回収率は一気に上昇しました。

リユース食器の使用データ

	2017年	2018年
リユース食器採用数	16,080	17,000
リユース食器紛失数	3,842	1,215
リユース食器回収率 (%)	76.1	92.9



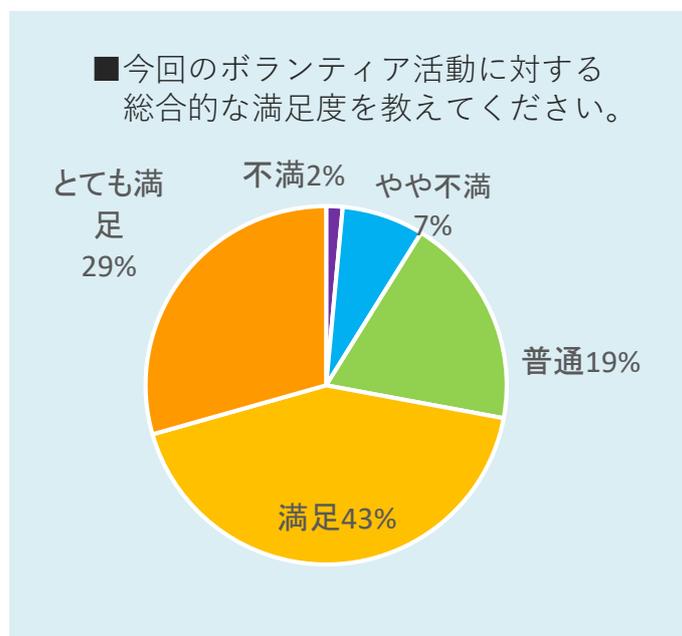
リユース食器
配布エリア



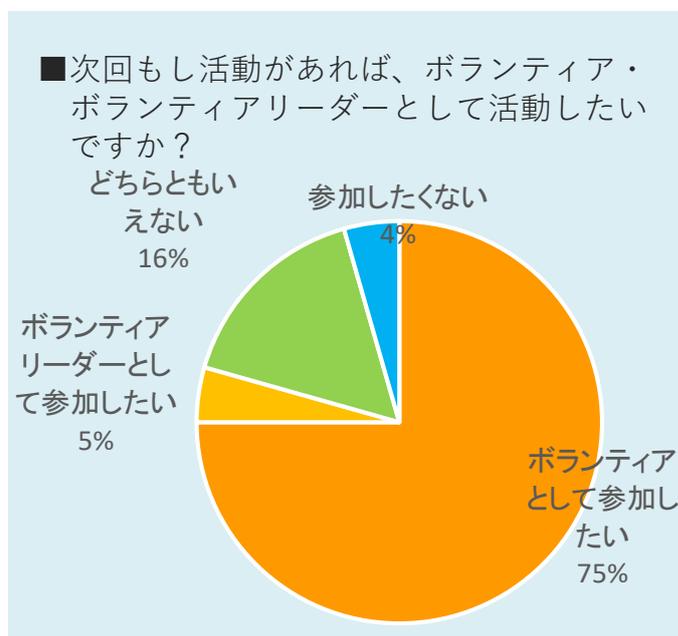
のべ1494名のボランティアが参加

昨年度の835名を大幅に上回る1494名の方にご参加いただきました。
参加者の内訳は会社員・公務員が75%と多数を占め、大学生・専門学生10%、高校生9%、その他4%、団体職員、自営業がそれぞれ1%となりました。
満足度は昨年度から下がりましたが、次回への参加意欲は昨年度を上回りました。

72%のボランティアが満足・ほぼ満足と回答。



80%が次回はリーダー・ボランティアで参加したいと回答。



ボランティアの声

●自分自身のゴミだけでなく、拾ったゴミを持参してくれたり等、協力的な方が多かった。花火を見て幸せな気分になり、分別に協力しようって人も多かったのでは？と何気ない会話から感じた。

●外国人観光客のかたが、活動に好感を示してくれ、声をかけていただいた。

●同じエコステの人と会話ができたり、ボランティアリーダーの方からも色々なお話を聞くことができたのでボランティアに関する知識だけでなく、人との接し方なども学ぶことができました。

●お客さんは想像以上に分別に協力的で、こちらの活動にお礼を言ってくださるかたもいた。

▲ボランティアアンケートより

回答者の90%が環境問題に対して意識変化

事前に説明会を実施し、10代～70代までの幅広い年代のボランティアが天神祭のごみや分別の意義とごみゼロ大作戦当日の一連の流れを説明しました。
多くの市民や企業に対し、啓発の場としても機能しました。

48%が分別や3Rについての意識が高まったと回答。
また、**42.7%**が環境・ごみ問題に関するに
気をつけるようになったと回答。

■天神祭ごみゼロ大作戦への参加をきっかけに意識や行動の変化はありますか。



(75名が回答)

ボランティア説明会 開催日程

- 6月24日 (日) @エル・おおさか
- 6月28日 (木) @エル・おおさか
- 6月29日 (金) @エル・おおさか
- 7月1日 (日) @大阪市立東住吉会館
- 7月12日 (金) @エル・おおさか
- 7月13日 (月) @エル・おおさか
- 7月14日 (水) @エル・おおさか

合計**14回**開催



約60名のボランティアリーダーの育成

大学生を中心とした10代～60代がボランティアリーダーとして参加。天神祭のごみ問題についてはもちろんリーダーとして、ボランティアへの関わり方を学ぶ機会を設けたり、実際に京都祇園祭のごみゼロ大作戦にも参加しました。天神祭のごみ問題だけでなく、今後の環境界隈で活躍するリーダーの育成に取り組みました、

第1回 5/19 (土) 19:00～21:00

天神祭のごみについて知る・考える

リーダーの声

3Rに順番があること等この活動の本来の目的等を背景から踏まえて知ることができました。

第2回 6/10 (日) 14:00～17:00

エコステーション運営ロールプレイ

リーダーの声

実際のシチュエーションでロールプレイ出来たので不測の事態にどうしようかと考えられる良い体験になった。

第3回 6/30 (土) 13:00～17:00

現場の確認・役割の確認

リーダーの声

現地の場所や広さ、周りの配置等を確認できたので当日に向けて安心出来る良い機会でした。

第4回 7/7 (土) 7/8(日) 終日

京都大作戦でのごみゼロ研修

京都大作戦が大雨で中止のため未開催

第5回 7/15 (日) 7/16(月祝)終日

祇園祭ごみゼロ大作戦で実地研修

リーダーの声

祇園祭で実際にインカムを使ったり、リーダーとしての動いてみることで、当日のシミュレーションができたので、当日に本番を行うよりも安心できました。

第6回 7/21 (金) 19:00～21:00

当日マニュアルの確認

リーダーの声

当日の動きや流れの確認、不明点を知れたので当日スムーズに動くことが出来た。



活動風景－エコステーション・リユース食器

エコステーションは広さに応じてLサイズ～SSサイズまでの4サイズを設置。
また、各場所に4～8人のボランティアを配置しました。

写真記録（抜粋）



▲エコステーション設営完了



▲リユース食器使用風景



▲分別回収の様子①



▲日が暮れるとごみが多くなってきます



▲昼過ぎからお客さんが多くこられています



▲エコステーションに長蛇の列も

写真記録（抜粋）



▲多くの企業からボランティア参加がありました



▲リユース食器配布中



▲回収量の調査もボランティアが行います



▲ごみの分別回収にご協力をお願いします



▲夜遅くまで活動しています



▲花火もしっかり見ました。

天神祭ごみゼロ大作戦2018

みんなの力で
天神祭ごみゼロ
したいねん。

エコステーションやリユース食器を使って、
天神祭7.24(宵宮)-25(本宮)のごみゼロを目指します!

ボランティアスタッフ大募集!!
お金の代わりに
ごみゼロ大作戦を応援しよう!

www.tenjin-gomizero.jp

■ポスターA1・B2サイズ

天神祭ごみゼロ大作戦2018

みんなの力で
天神祭ごみゼロ
したいねん。

2018.7.24(火)宵宮-25(水)本宮

ボランティアスタッフ大募集!!

2018.7.24(火)宵宮-25(水)本宮

ボランティア募集方法

■ボランティア募集チラシ

天神祭ごみゼロ大作戦2018

みんなの寄付で未来に誇れるお祭りに!

800万円
目標金額:2018.7.24(宵宮)まで

エコステーションでの分別活動や
リユース食器を活用して、ごみゼロを目指します!

市民の力で天神祭に誇れるエコな天神祭へ

天神祭ごみゼロ大作戦2018

エコな天神祭へ、さらなる挑戦!

その1 分別回収の徹底で、ごみの64%を資源へ。

その2 リユース食器を導入して、そもそもごみ出さないお祭りに。

ご寄付の入金先は ゆうちょ振替・銀行振込にてお願いします。

天神祭ごみゼロ大作戦2018

7.24(宵宮)-25(本宮)
ボランティアリーダー募集

天神祭ごみゼロに! みんなで楽しく世界に誇れる祭りを作り上げよう!

ボランティアリーダー募集

2017年度の活動では、目覚めるほどきれいになりました!

研修日程

参加必須日程

参加推奨日程

お申し込みはコチラから!

■寄付募集チラシ

■ボランティアリーダー募集チラシ



■Osaka Metro各駅に配架されました

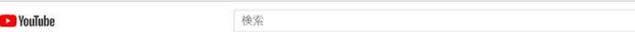
今年度は新聞での掲載だけでなく、歌手の方に天神祭ごみゼロ大作戦公式応援ソングを制作いただき、複数のグループからダンスも踊っていただきました。



▲2018年7月11日タカフジ掲載



▲2018年4月24日タカフジ掲載



【GOMIゼロ公式000】 天神フェスECOステーション



【GOMIゼロ公式002】 大阪府立柴島高校ダンス部 Kjack



【GOMIゼロ公式003】 Lucky Clover



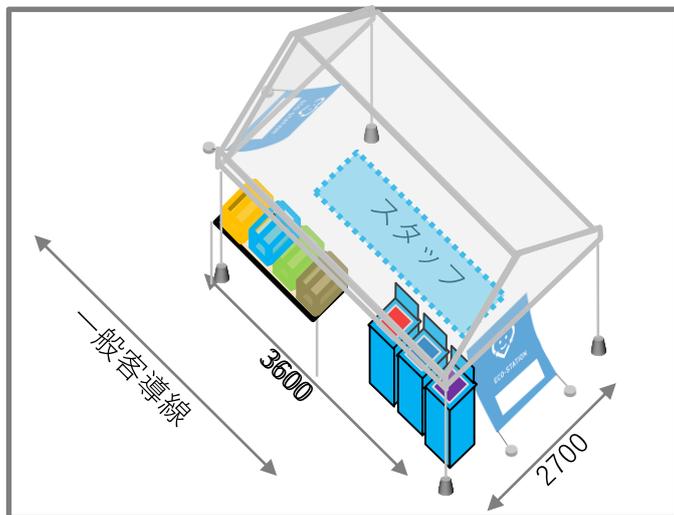
【GOMIゼロ公式001】 PTAP(豊原川市のグループ)

「天神フェスECOステーション」 作詞作曲：東哲一郎 振付：Salia

制作物一覧



■ 分別サイン



■ エコステーション図面



■ テント横バナー
[1760×1800mm]



■ のぼり
[580×1785mm]



■ ボランティアTシャツ

成果

- ・大川沿い一帯でエコステーションを設置し、分別活動は大きく展開をすることができ、多くのごみを資源物とすることができた。
- ・ボランティア参加者がのべ約1500名
- ・80%が来年も参加したいとアンケート回答

課題

・市民の意識と行動を変えるよびかけを

まだまだ散乱ごみが目立つ状況があります。今年掲げた「みんなの力でごみのない天神祭にしたいねん。」の呼びかけの定着をはかり、もう一步踏み込んだ具体的な行動提案をしていきます。

・ごみをもとから減らす工夫を

資源物の分別回収は大切ですが、排出物そのものを減らしていく工夫も必要です。今年度神農商業協同組合で取り組まれたびんでの飲料販売自粛はごみ減量に大いに効果がありました。リユース食器の普及活動は南天満公園中心にとどまりました。今後河川敷全域に広げていかなければなりません。

・もっと広い共感をひろげる取り組みを

この活動はボランティアのマンパワーと協賛をいただいたみなさんの資金によって成り立っています。今年度、いずれも立てていた目標には少し不足がありました。より広い共感を獲得できるよう取り組んでいきます。



▲露店ごみと来場者からのごみが混じる様子



▲露店ごみの上にごみが捨てられていく

ご協力いただいた皆様

ご協賛いただいた皆様



TAKUMA

技術を大切に
人を大切に
地球を大切に



(学)エール学園/近畿労働金庫/(一社)大阪市一般廃棄物適正処理協会/(一財)環境事業協会/(公社)大阪府産業資源循環協会

実施協力いただいた皆様

(株)大恵/(株)ジオメイク/大阪神農商業協同組合北支部

ご協力いただいた皆様

パナソニック(株)/(有)オフィスジェイ/大塚製薬(株)/富士通ITマネジメントパートナー(株)/リタワークス(株)/(一財)大阪労働協会/自治労大阪府本部/(一社)平和と自由と繁栄の会館/関西製紙原料事業協同組合/大阪硝子壺問屋協同組合/東哲一郎/ Salia/U-CONCENT 香川裕貴/PTAP/大阪府立柴島高校ダンス部/Lucky Clover/大阪市高速電気軌道(株)

クラウドファンディングでご寄付いただいた皆様

かわさき こういち/渡辺 晴雄/幸江/荒木 雄大/古江 晃也/野村 壮典/
椋木 美緒/山中 由紀/佐藤 正隆/岡田 有加/玉井 慎太郎/木田 祐里江/
古川 智子/丸山 祐生/永阪 佳世/成尾 秀夫/加山 俊也/山崎 博文/三浦 禮子/
山口百合子/梶川 遥奈/野津岳史/西村優子/花嶋温子 (敬称略)

天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会

〒532-0013 大阪市淀川区木川西1-4-20

(NPO法人大阪府民環境会議内)

TEL: 06-6195-9868

FAX: 06-7632-4481

E-mail: info@tenjin-gomizero.jp